

ひでお行動

Vol. 31

9月6日

霧がすこしかかっているが高原の朝は気持ちが良い。昨夜遅かったのに、地



元参加者は朝早く帰っている。露天風呂で昨夜の酒、汗を流す。残念なのはサウナが午後からでないと開けなかったことである。入浴料250円は安い。朝食を揃って食べるのは美味しい。安価な料金なので、使用した部屋等掃除して帰る事になっており、皆であと始末。時間の関係でAから仙台駅まで送ってもらう。

青少年問題特別委員会も8日開催となり開会時間も農林と同じ、しかも質問時間も同じである。同僚議員に質問変わって頂くよう声をかけるが、他の委員会も開催予定で無理、事務局と相談しながら質問時間帯を繰り上げて調整する。しかし、質問内容準備時間なく大変である。農林水産委員会質問は4時で通告することになっているが、青少年はこれからである。政策秘書と相談しながら内容検討、夜8時過ぎになり、ほぼ内容固まり明日山口県上関原子力発電所現地視察で不在であるが質問通告は明日に

する。

9月7日

朝7時の新幹線で山口県上関町原子力発電所現地視察に向かう。設置場所は瀬戸内海の最後に残された豊かさが残る場所であり、地球上に5000羽しか生息していない希少種「カンムリウミスズメ」をはじめ驚くほど多様な貝や海藻、海鳥、水生哺乳類まで生き残っている内海である。

この場所に中国電力は、山を削り海を埋め立て原子力発電所建設計画を申請してから町民は2分され激しい闘いが展開されてきている。25年以上経っても着工に至らず対立は続いている。

「長島の自然を守る会」「祝島島民の会」が自治労協力国会議員団に呼びかけで開催されたものである。民主党4名と私の5名である。国会議員視察とあって報道関係も多い。中国電力から現地説明を受けた後「島民の会」メンバー達と事務所「団家の家」で、これまでの闘いの歴史、意見交換を行う。台風の関係で祝島に渡れず残念。会社側は補償金を積み上げ団結力を崩す。1漁師あたり何千万というからものすごい金の威力である。しかし、島民の団結力は強い。私達が会社の説明を受けている時でも「海を守れ」とプラカードでアピール。

初めて現地を視察したが、中国電力の島根原発の漏洩、点検ミス等問題が表面化している中で新たな建設は絶対認める事は出来ないし25年以上もの闘いに敬意を表しながら「原発」の闘いの重要性を改めて認識させられた。

今日の視察を踏まえて社民党として国会「環境委員会」などで取り上げていく。

新幹線の中、台風の関係で宿舎着は12時廻りそうだ。

9月8日

台風9号の影響で東京は久しぶりの雨であるが、激しい雨である。交差点付近は雨が溜まり横断する人は川の浅瀬を渡っている状況。地下鉄恵比寿駅は浸水し一時閉鎖、先日TVで放映されたが、都市は一定の雨量以上になると飲み込めない。その雨水が短時間に地下鉄などを豪雨となり襲うという内容であったが、今日の激しい雨は予告しているように感じた。



今日は農林水産、青少年特別委員会での質問バッターである。青少年は宇都秘書を通じて昨日質問内容通告していたが、打ち合わせする時間は短時間、8時50分から農林水産委員会理事会、9時委員会、質問時間11時40分、青少年特別委員会理事会9時50分、委員会10時そして質問は10時40分からとなっており、各委員の質問内容を聞かないと質問チグハグになるため宇都秘書と手分けする。上野秘書は昨日から政策合宿で不在、時間通りこなしたが、午前中に2つの委員会で質問をこなすことは厳しい。(質問内容は10日発行のニュース掲載予定)

3時から「地域主権と労働基本権の確立を求

める自治労集会」に又市副代表、重野幹事長と出席する。台風の影響でデモ行進などとりやめ、4時半から議員への陳情、私の執務室には、4時半過ぎ宮城県本部代表が来室、参議院選挙などの話をしているうちに30分も過ぎる。山形、新潟の代表が来る。宮城は私が最初で他の議員にも廻らなければならないとの事であったが意見交換できた事を感謝する。来春仙台市議選に再挑戦する樋口氏にエール・・・山形、新潟県本部代表は私が最後の陳情であり、新潟県本部に近藤議員選挙お礼を述べながら、ゆっくり懇談する。

あっせん収賄など4つの罪に問われている鈴木宗男議員の上告審で最高裁は上告を棄却し懲役2年の実刑判決が確定する。鈴木議員は失職し刑務所に収監される見通しである。衆議院外務委員長選任の時、25年以上永年勤続表彰の時、いずれも野党より強い反対、そして抗議があったが原案通り通過した経過がある。社民党として経過はありながらもきちっと声明を出すべきであるし、明日の常任幹事会で・・・

9月9日

深夜、「私の部屋がガス漏れ」と管理人から電話入る。漏れていないと返事をして、ウトウトしているとチャイムが鳴る。わざわざ部屋を確認するに来る。ガス会社を呼んで調べても管理人室からは漏れている表示になっているという。お陰で眠不足である。朝、原因を聞いたら雨が原因、しかし、本当に漏れていたらと思うと・・・おそらく管理人は一睡も出来なかった

と思うし感謝である。

9時半から社民党全国連合常任幹事会出席、



鈴木宗男議員問題について、昨日に続き報道陣の前で「政治とカネ」「企業、団体献金禁止」を堂々と社民党の主張を述べる。当然鈴木議員は資格なし。野党1枚岩になり、「経済緊急対策の申し入れ」の議論、しかし、自民党案では、3党合意内容批判も盛られており、社民党として加わることでできず。今日国民新党との政策担当会議があり、国民新党と申し入れをする方向で話し合い、合意できなければ独自で申し入れを確認する。内容はこれまで議論してきたことを政策担当に委ねる。11日の「佐高塾」内容、社民党としての上関原子力発電視察について意見交換する。

上野秘書より政策合宿の報告を受け、明日からの後援会役員研修資料づくり、10日発行のニュース、農林水産概算予算内容について農林部会を15日に開く段取り、そして15日までの日程調整し3便で帰省する。今日は空港内でブログ掲載する。

9月10日

事務所で事務整理し、昼から酒田市、三川町支持者訪問。4時から地元北月山において明日の朝まで、後援会政策研究会である。後援会役員24名参加。

国政課題と町政課題について私と小林町会

議員から報告と課題提起、「解散総選挙近いのではないか」「米下落、戸別補償制度に対する期待と不安」

「指定管理者制度に対する課題」など質問が相次ぐ。初め



ての政策研究会であったが、次回からは課題を絞って開催する、余目町と立川町が合併して庄内町誕生して5年、会場の「北月山荘」は旧立川町地元有志が出資して造ったが、その後町が引き継いでいる。月山の麓、自然の池に面したコテージ、ラベンダー畑、そば畑が広がり、何よりも水が美味しい。宿泊にも力を入れ夕食は主婦料理サークル「山ぶどう」の手づくり季節料理、この料理が今評判である。料理を舌包みながら遅くまで交流会続く。

9月11日

朝食後コテージ付近、ロッジ付近を散策する。ロッジの展望台から立谷沢川周辺に広がる水田、黄金色一色である。間もなく収穫である。雲がかかり鳥海山が見えないのが残念。いつもお世話になっているT氏に立ち寄るが留守。名刺をおいて舟形町の「若鮎まつり」に向かう。

自然豊かな清流小国川の恵みに感謝しながら、友好都市「世田谷区」をはじめ全国、県内各地から多くの人たちが集まり「第30回若鮎まつり」開催される。ここでとれる「鮎」は、味・香り・形の三拍子揃った鮎であり「松原鮎」として明治天皇に献上した経過もある。私の地

元庄内町からも参加していた。昨年につき2回目の参加であるが今年も途中から雨になる。最上一市七町村の結束力は良い。今回もすべての首長が顔をだす。庄内地域では考えられないことである。夏祭りの締めが新庄祭りであり秋祭りの始まりが、若鮎まつりである。鮎川村の「きこの祭り」などが続く。若鮎をご馳走になり、先週はコテージ「あゆっこ村」でお世話になったことを奥山町長にお礼を述べて、山形での「佐高塾」に向かう。

150名出席し「佐高塾」開催された。佐高塾は今年から年4回講座、受講料5000円で受講生を募集し、社民党山形支部、平和センターが実行委員会をつくり5月から始まった。今回は



3回目であり、「今日の情勢と社民党の役割」福島党首の講演、そして党首と私のトークである。「沖縄に多くの基地がある。普天間移設で離脱したが、沖縄から基地をなくするという課題から言えば、もっと与党の中で頑張る事ができなかったのか。」「臨時、契約社員、パートなど非正規雇用問題が深刻になっている、この対策は。」「下落続ける米価、戸別所得補償制度に対する考え方は、」「社会新報、ホームページ、判り易い言葉で」・・・など等質問も続き30分も時間オーバー、その後党首サイン会、

懇談会、党首の山形入りは私の選挙戦以来であり宿泊し山形を元気つけさせて頂いたことに感謝である。

9月12日

鶴岡市にある「慶応義塾大学先端生命科学研究所」が開設されてから10年になる。「山形県・鶴岡市を世界的な学術文化都市へ」と題して10周年シンポジウムに出席。山形県議の時、「庄内に大学を」誘致活動、酒田市、鶴岡市どちらに誘致、そして酒田に東北公益大学、鶴岡市に研究所となった経過を思い出す。ITを駆使した生物学の新しい分野の技術を世界に先駆けて確立し環境、医療、食品などさまざまな分野で応用し世界的な注目を集めている。ベンチャー企業も立ち上がり留学生、研究者も世界各国から集まってきている。そして来年はバイオテクノロジーの国際会議が鶴岡市で開催予定で世界各国から約500人の研究者が出席するとの事、益々大きな期待、大きな夢が広がる。

「小出新田親水まつり」にシンポジウム出席後、1時半頃出席予定であったが、「雨が降り出し撤去、3時からの反省会に出席してほしい。」と連絡入る。祭りは、受精士S氏達が10年前から羊を飼育、その美味しい肉を会員の方々に食味、そこから美しい小出沼で地域起こしの一環として7年前から「親水まつり」が開催される。年々参加者が多くなり盛大な祭りとなっている。祭りに参加できず残念であったが、反省会で美味しい肉をご馳走になる。